

生分解性マルチの効果確認試験

JAながぬま

坂下 大貴



6.5①



6.5②



6.5③



6.5④



6.5⑤

試験目的

生分解性マルチの効果確認

試験作物
及び品種

スイートコーン(めぐみゴールド)

試験資材
及び数量(規格)きえ太郎Z ※旧商品名:コーンマルチII (0.015mm×95cm×400m)
有孔9235 45φ 2本

慣行資材

サンバイオ(0.018mm×95cm×400m)

栽培方法

定植日	収穫日
慣行区:5月3日	慣行区:8月中旬

資材使用期間

5月1日～

試験結果

(1)作業性について(慣行品との比較)

展張作業は問題なかった。

慣行品との差はなかった。

(2)作物の生育状況または、収穫への影響

生育差はない。収穫後すぐすきこむ。

(3)栽培管理上の優位点あるいは問題点について

【優位点】: 特になし。

【問題点】: 特になし。

(4)資材の強度・耐久性・崩壊性について

慣行品と比べ大きく変わらない。

ただし、風が吹いたときに試験品のほうがバタつくような印象。

これが厚さが薄いことによる「軽さ」によるものなのかは不明。

(5)保温効果について

生育差が出ていないことから優劣がないと思われる。

モニター感想

生分解性マルチが安く購入できるのであれば銘柄は決めていない。

有孔品を希望する生産者が多くいるため、様々な規格に対応し、決まったところで分解が進むような生分解性マルチを望んでいる。当銘柄は特に問題もなく、価格帯が安ければ購入検討をする。

JA担当者の感想(資材センター 小西調査役)

試験品は、慣行資材より薄く軽いので、強度など心配があったが問題は無いように見受けられた。

近年、生分解マルチの需要が高まっている中、生分解マルチが価格上昇している中で、安価な生産資材として、組合員に提案していけるのではないかと考えられる。

今後の使用について

継続して使用したい。